

ゴミ焼却場その後の

進捗状況について



榎谷 千重子 議員

果たせている。早い段階での美波町、海陽町へ新設すべきではないか。

答 福井町長

わが牟岐町として、早急に取り組まなければならない懸案事項の一つである、ゴミ焼却場の建替ですが、6月議会から3か月が経っている。両町にどのような対応をし、どのような結果になったのか。

「ゴミ焼却場、現在地で改築」と、なぜこのような新聞報道がされたのか。

廃棄物処理は現在、阿南市内にある処分施設で受け入れてもらっているが、過去5年間で処分料金は2億を軽く超す。少なくとも約20年余りの間、牟岐町がこの廃棄物を処分していた。牟岐町としての任務は十分

6月議会で建設地は現時点では白紙の状況と答えながらも、私の考えを述べたことで、あのような新聞報道になったと推測される。「牟岐町議会では、現在地での改築は承認しない」旨の意見が多数であったことから、両町には、その旨の説明をした。

再度、私の意見を説明し、議員や町民の皆様の判断を仰ぎたいと考えている。

災害時には、ガレキ等のゴミを処理するだけでなく、入浴施設を備えた地域の避難場所としても活用できるような計画していきたい。



町内のゴミ収集

災害時に要支援者や障害者の命をどう守るか

質 榎谷議員

自力で避難することが難しいお年寄りなど災害弱者である要支援者の避難体制は万全なのか。防災対応能力が必要とされる中、牟岐町でも体制整備が急務と考

岩手県のグループホームの教訓を本町ではどう生かせるか。災害時の要支援者の周知徹底、施設との連携や自力で避難することが難しい高齢者や障害者の人たちの避難誘導等、安全確保をどう進めているのか。

答 福井町長

福祉避難所として指定しているのは、海部老人ホーム、緑風荘、和楽の三施設であり、災害時に要支援者を適切に避難誘導、救出・救護するため、民生委員の方々と連携し、災害時要支援者の状況把握と名簿作成に努めている。

岩手県の高齢者グループホーム被災の原因は、ソフト対策が十分でなかったからで、避難マニュアルはなく、避難訓練もしていなかった。したがって再度、要支援者施設の施設管理者と防災に関する危機意識や理解を共有し、各種避難情報の意味を十分理解してもらいたいと考えている。

答 木田住民福祉課長

地域の支援者は自主防災組織に依頼しているが、人選は進んでいない。関係者と情報を共有し、関係者が中心になって要支援者本人と避難場所、避難経路、情報伝達の方法について協議していきたい。